



広報つるおか特集号

平成30年度 鶴岡市予算特集

未来へつなぐ予算



鶴岡市長
皆川 治

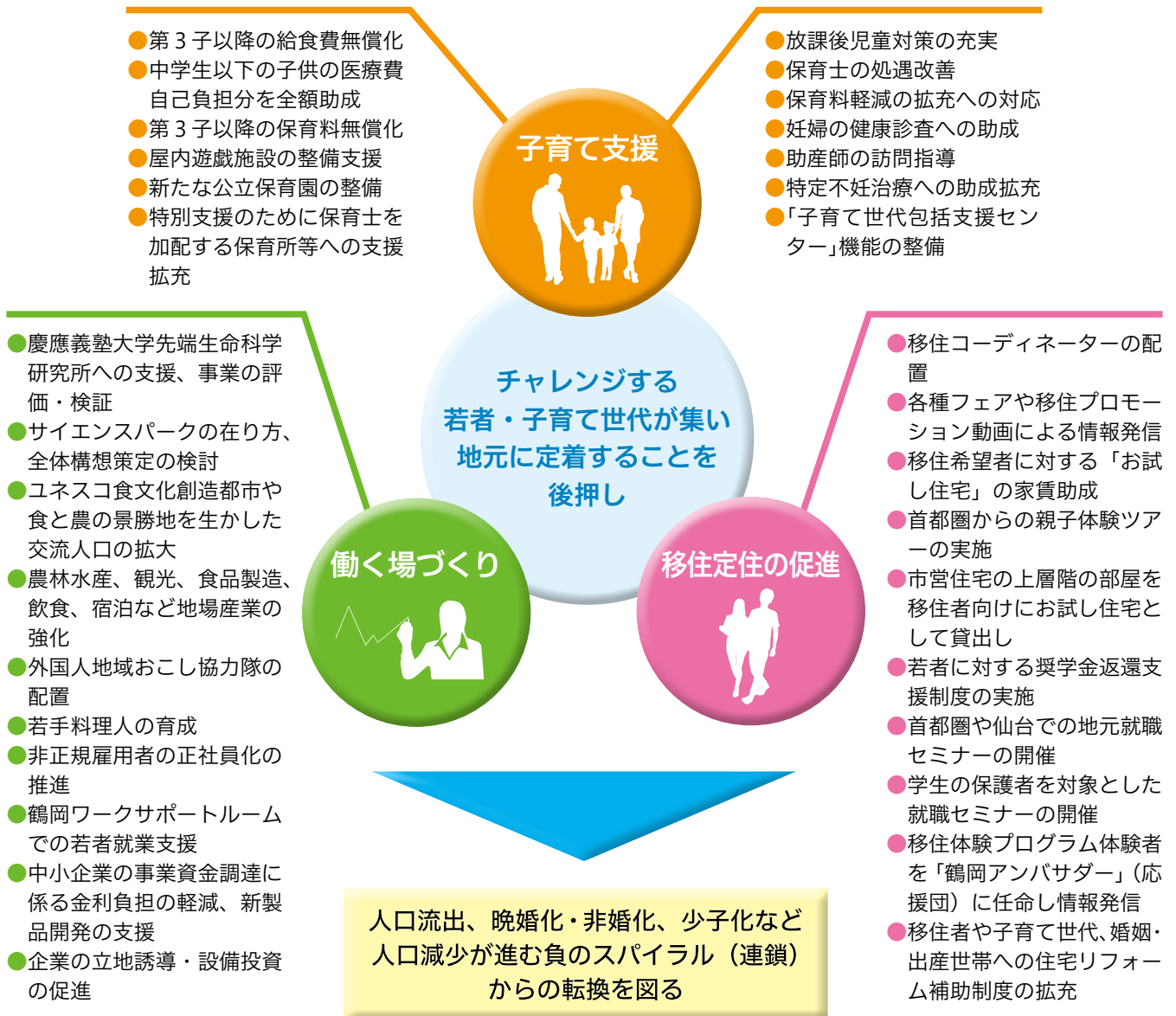
昨年十月に市長に就任して以来、まちづくりの在り方等について、多くの方々からご意見、ご助言や温かい激励を頂きましたことに感謝申し上げます。

ここ鶴岡は、歴史・文化の薫りも高く、東北一広い面積を有する四季折々の多様で豊かな自然に恵まれています。若者の地元定着、地域医療福祉、旧町村の活性化など、課題は山積しています。これらの課題を正面から受け止め、しっかりと取り組んでいくため、予算のみならず、税制、制度等の政策手法を総動員し、市民の皆様にもその実行過程の透明性を確保し、分かりやすく、理解を得ながら進めていく必要があります。このたび編成した新年度予算では、子育て世帯の負担軽減を図るための

平成30年度予算編成のポイント

人口減少に正面から立ち向かう

— 若者・子育て世代に選ばれるまち鶴岡へ —



第三子以降の小・中学生の給食費無償化や、旧町村地域を含め、全市域のまちづくり活動の活性化を目的とした「地域まちづくり未来基金」の創設、高齢者が安心して暮らせるための運転免許証返納後の支援策などの事業を盛り込みました。

また、これまでの行政施策の継続性も大変重要であり、本市の成長戦略である慶應義塾大学先端生命科学研究所を核としたサイエンスパークの取り組みや、ユネスコ食文化創造都市の認定を受けた世界に誇る「食文化」の取り組みなど、これまでの政策の検証・評価をしっかりと行いながら、さらに伸ばしていきます。

私は「対話重視」「市民目線」が市政運営の基本であると考えています。新年度も対話を重視し、市民の皆様との協働で鶴岡市の発展に全力を尽くします。鶴岡が誇る地域資源を活かし、若者・子育て世代に選ばれるまち、旧鶴岡市と旧町村がともに発展するまち、高齢者も障害者も安心して暮らせるまち、すなわち「市民が幸せだと思えるまち・鶴岡」を実現するため、各般の施策を推進してまいります。

平成30年度の予算総額は 1,296億7,552万5千円

会計別内訳

一般会計

653億4,000万円

(対前年度比 -5.0%)

福祉、医療、教育、道路の整備など基礎的な行政サービスを行うための会計です。

今年度は、過去最高額となった前年度の予算と比べて34億5,200万円(5.0%)減りましたが、過去2番目に大きい予算の規模です。

特別会計

304億7,727万8千円

(対前年度比 -7.0%)

特定の事業を特定の収入で賄う会計です。収支を明確にするために、一般会計から独立しています。

会計別の予算額は下の表のとおりです。

名称	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	123億9,869万6千円	-15.9%
後期高齢者医療保険特別会計	15億4,614万6千円	+1.9%
介護保険特別会計	164億6,096万円	+0.2%
休日夜間診療所特別会計	6,396万5千円	+1.8%
墓園事業特別会計	751万1千円	-20.3%

企業会計

338億5,824万7千円

(対前年度比 -0.2%)

民間企業と同様に、事業の収益によって運営している会計です。地方公共団体が経営する企業を地方公営企業と言います。

会計別の予算額は下の表のとおりです。

名称	予算額	対前年度比
病院事業会計	167億8,106万4千円	+3.3%
水道事業会計	47億4,182万2千円	-2.9%
下水道事業会計	123億3,536万1千円	-3.6%

前年度と比べた歳入の状況（主な増減の理由）

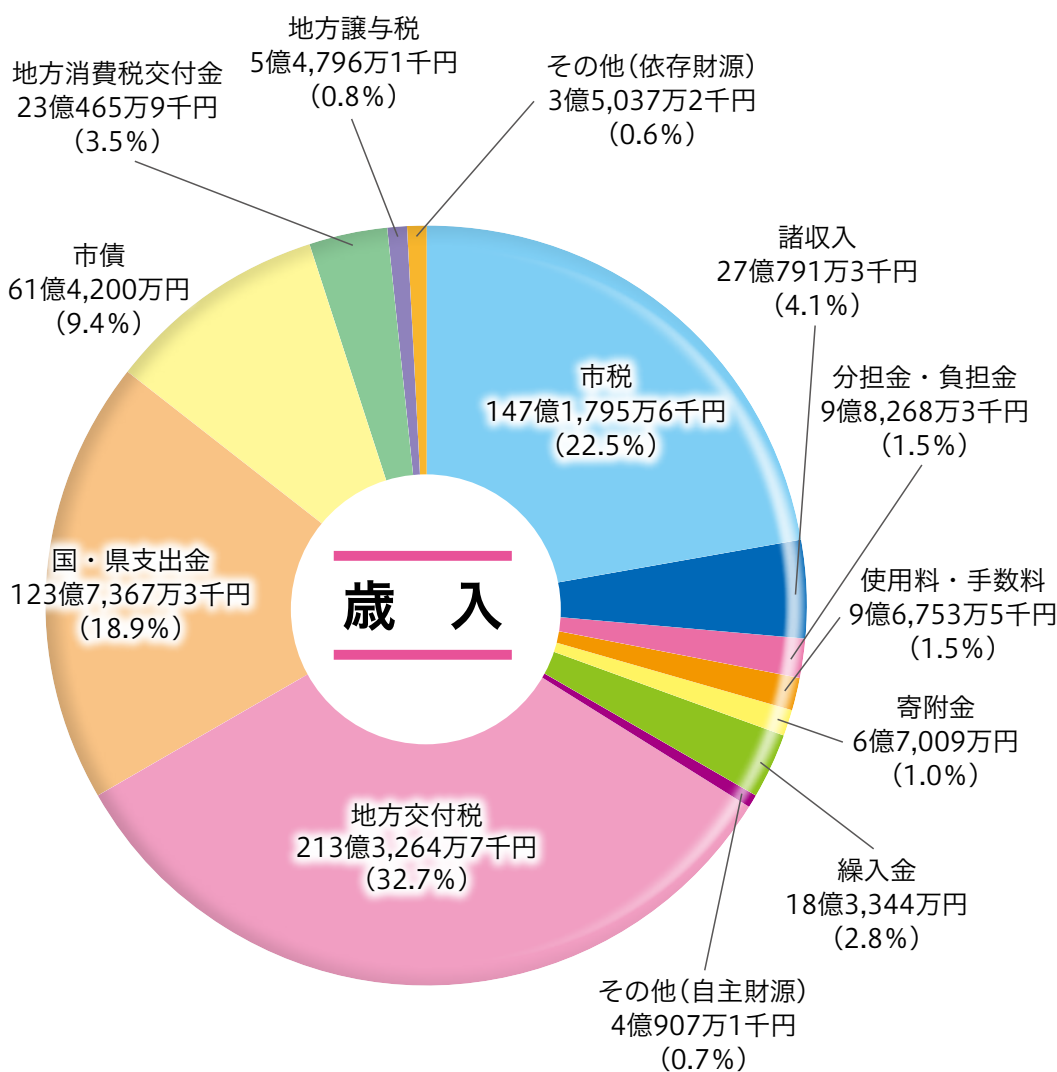
自主財源

- 市税…2億848万7千円の**増**
雇用環境の改善や一部企業の積極的な設備投資による市民税・固定資産税の増収
- 諸収入…1億1,708万8千円の**減**
- 分担金・負担金…2,755万1千円の**減**
- 使用料・手数料…1,161万1千円の**増**
文化会館使用料収入の増
- 寄附金…1億4,800万1千円の**減**
ふるさと寄附金への返礼品の返礼率見直し
- 繰入金…7億5,103万2千円の**増**

依存財源

- 地方交付税…3億7,104万9千円の**減**
国の地方財政計画の交付税総額の減や、合併特例期間終了後の段階的縮減の影響
- 国庫支出金…1億5,466万3千円の**増**
子どものための教育・保育給付費国庫負担金の増
- 県支出金…3億3,119万円の**減**
- 市債…37億5,420万円の**減**
文化会館整備事業債や養護老人ホーム施設整備支援事業債の減
- 地方消費税交付金…8,616万6千円の**増**

653億4,000万円



歳入に占める割合

自主財源…34.1%
市税など、自主的な収入

- 市税
- 諸収入
- 分担金・負担金
- 使用料・手数料
- 寄附金
- 繰入金 等

依存財源…65.9%
地方交付税など、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入

- 地方交付税
- 国・県支出金
- 市債
- 地方消費税交付金
- 地方譲与税 等

- 市税、地方交付税、国・県支出金、市債…12ページの用語解説参照
- 繰入金…特定の事業のために積み立てたお金（基金）などから繰り入れるお金
- 分担金・負担金…特定の利益を受けた人から負担してもらうお金
- 地方消費税交付金…消費税の一部が人口と従業者数に応じて交付されるお金
- 地方譲与税…国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

前年度と比べた歳出の状況

- 民生費…1,653万2千円の増
- 公債費…2億9,727万5千円の増
- 総務費…4億419万5千円の減
- 衛生費…9億8,263万6千円の増
- 土木費…1億5,875万3千円の増
- 教育費…42億9,555万円の減
- 農林水産業費…8,186万3千円の減
- 商工費…3億8,158万6千円の減
- 消防費…1億9,349万5千円の増
- 議会費…1,494万5千円の増
- その他…4,755万8千円の増

前年度と比べた歳出の性質別状況（主な増減の理由）

※13ページのグラフ「一般会計歳出の構成別推移」参照。

- 人件費…0.6%の減
事務事業や組織機構の見直しによる定員適正化
- 物件費…2.4%の増
スクールバスの運行委託料や住民記録システム改修委託料の増
- 維持補修費…8.3%の増
除雪対策事業の増額
- 扶助費…6.1%の増
子どものための教育・保育給付事業や自立支援給付事業の増額
- 補助費等…2.0%の減
大規模事業場設置助成金やふるさと寄附金事業の減額
- 普通建設事業費…41.4%の減
ごみ焼却施設整備事業や公立保育園移転改築事業の工事開始がある一方、文化会館整備事業の完了による減額
- 公債費…3.9%の増
平成24年度に発行した市場公募債の償還

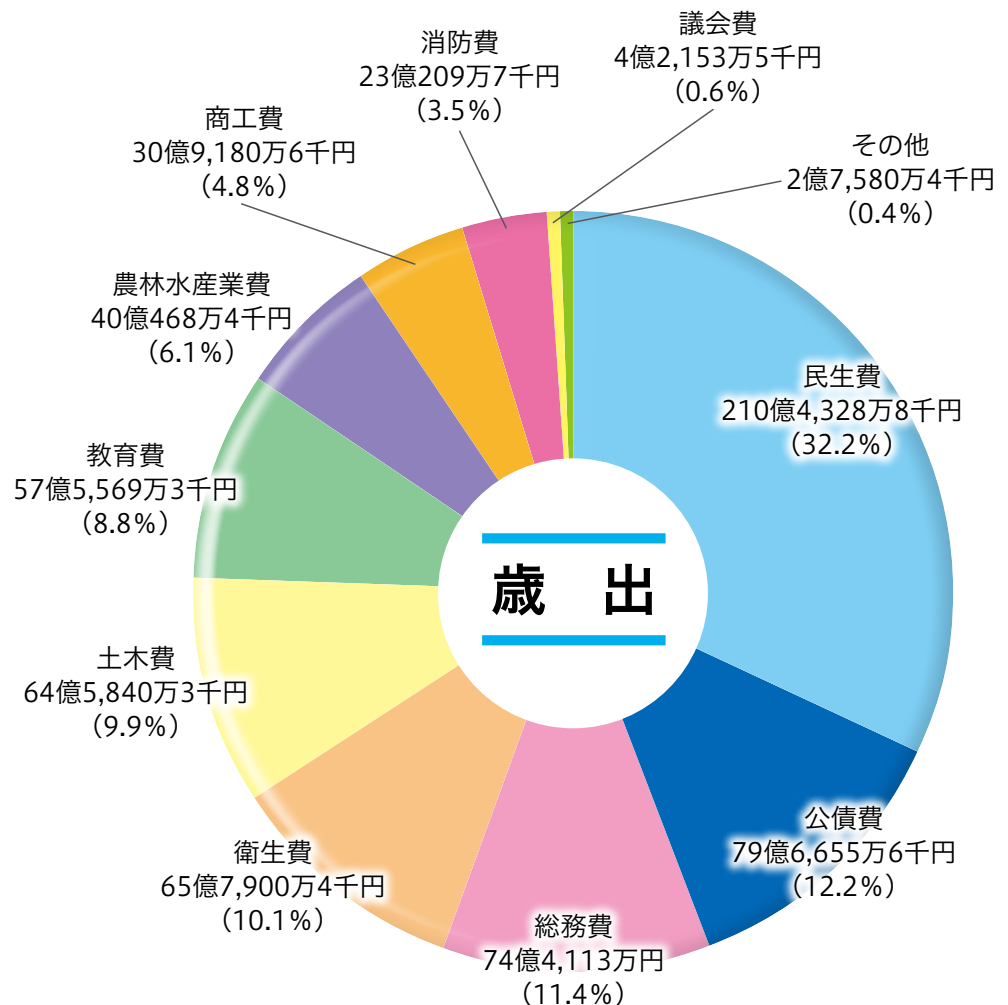
一般会計予算額

歳出に占める割合

消費的経費…65.2%
物件費や補助費など、後年に形を残さずに消費される性質のお金

投資的経費…9.8%
建設事業などのように、社会資本として将来に残るものに使われる性質のお金

その他…25.0%
上記のうち
義務的経費…49.4%
人件費や扶助費、公債費のように、支出が義務付けられ、任意に節減できないお金



- 民生費…福祉や保育などのためのお金
- 公債費…借金返済に充てるお金
- 総務費…課税・納税、職員管理などのほか、総務・企画的な業務のためのお金
- 衛生費…健康増進やごみ処理などのためのお金
- 土木費…道路や橋の建設などのためのお金
- 教育費…教育などのためのお金
- 農林水産業費…農林水産業の振興のためのお金
- 商工費…商工業や観光の振興のためのお金
- 消防費…消防や救急、救助活動などのためのお金
- 議会費…市議会の運営のためのお金

平成30年度 鶴岡市の主要事業

いよいよ新年度がスタート。もっと暮らしやすい魅力あふれるまちになるよう、「子育て支援の充実」「若者の定着促進」「地域福祉・医療の向上」「新たな基金を活用したまちづくり活動の活性化」などの事業に力を入れて取り組みます。

子育て支援の充実



学校給食費給付金

8,600万円

学校給食発祥の地・鶴岡の子供たちが毎日楽しみにしている給食。第3子以降の小・中学生の給食費を無償化し、子育て世代・多子世帯の保護者の負担を軽減します。

市民の芸術活動環境の充実

文化会館管理運営事業

2億943万円

様々な分野の開館記念公演を行うとともに、貸館をスタートします。市民の芸術文化活動の拠点として、また、開かれた交流の広場として、適切な管理運営を行います。

屋内遊戯施設整備への支援

屋内遊戯施設整備支援事業

1億円

天候が悪いときでも体を動かして思いっきり遊べる大型遊具を備えた遊び場が市内にはありません。そこで、民間事業者が市内に開設する全天候型屋内遊戯施設の整備を支援し、子育て環境の充実を図ります。

免許返納対策の推進



免許証自主返納サポート 高齢者外出支援事業補助金

2,812万円

運転免許を持たない高齢者等が安心して外出できる環境をつくるため、運転免許証の自主返納と高齢者等のバス利用を支援します。

- ①運転免許証の自主返納サポート
 - ・バスまたはタクシー券1万円分を交付
 - ・運転経歴証明書発行手数料を市が負担
- ②返納者と高齢者のバス定期券購入に補助

70歳以上の方と運転免許証返納者は、庄内交通株が販売する全区間で乗車可能なバス定期券を、下表の料金で利用できます。なお、この定期券をお持ちの方は市営バスも利用できます。

対象	券種	通常料金	自己負担額
70歳以上の方	1か月	10,000円	2,500円
	3か月	27,000円	7,500円
運転免許返納者(年齢不問)	1か月	10,000円	2,500円

※高速バス・空港リムジンバス・季節運行便を除く。

地域まちづくり未来事業計画の推進

地域まちづくり未来事業

2億1,382万円

これまで各地域のまちづくりに関する議論の中で、事業立案に向けた財源の裏付けがないという課題が示されていました。そこで、財源を示すことで事業の実現性を高めることを目的に「地域まちづくり未来基金」を創設。旧町村を含む全市域とともに発展できるよう住民参加の議論を促進し、各種事業を展開していきます。

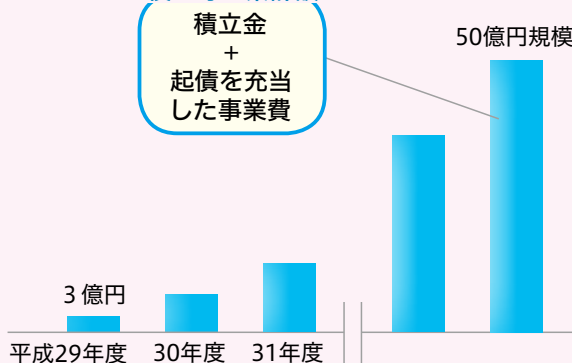
「地域まちづくり未来基金」の創設とその造成イメージ

3億円の基金でスタートし、毎年度の決算剰余金を活用し基金を段階的に積み増します。さらに、事業実施の際、交付税措置のある有利な起債を使える場合は起債を充当します。

基金の積み増し(積立金)と起債を充当した事業費を含めて総額50億円規模を目指します。

※行財政改革との整合性を確保しつつ、予算の査定をしっかりと行い、市民のアイデアが反映された地域活性化につながる事業を実施していきます。

積立等の累計額



6・7ページでは、新年度の主要事業のうち新規・拡充事業を中心に、8～11ページでは、総合計画の施策の大綱に沿った事業を紹介します。

幼児期の教育・保育の充実



保育サービス関連事業

49億6,148万円

共働きの増加や働き方の多様化などを背景に、就学前の教育・保育サービスの充実を求める声が多くなっています。認定こども園や保育園への各種給付を継続し、保育園等におけるサービスの量・質を充実します。

また、子育て世代に対する支援体制の整備を一層進めるため、病児保育、一時預かりに取り組む園等への支援や、子供の発達の状況に応じた特別支援を行う保育士の加配に対する補助を拡充します。

庄内病院の機能充実

高度医療機器等の整備 広報活動等

2億7,869万円

地域の基幹病院としての医療機能を充実するため、高度医療機器等の計画的な整備を進めます。

また、外部講師等からの助言を踏まえた接遇力の向上や、広報誌の全戸配布による情報発信等に取り組みます。

高齢者を支える地域包括ケア体制の整備

地域包括支援センターの体制強化 生活支援体制整備事業

1億9,719万円

高齢化率の増加に伴ってひとり暮らしや認知症、介護などの相談件数が増加し、その支援に取り組む地域包括支援センターの重要性が高まっています。

センターを拠点とした相談体制強化のため、センターの担当地域を再編するとともに、全てのセンターに保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士を配置します。また、生活支援コーディネーターを配置し、高齢者が安心して暮らせる総合的な支援環境を整備します。

学習環境の充実



外国語教育充実支援 部活動指導員の配置

1,426万円

学習指導要領の改訂に対応し、小学校における外国語（英語）教育を支援する外国語サポートと、中学校における部活動を支援する部活動指導員を配置するなど、「チーム学校」として学校課題に対応し、教育の充実につなげます。

食育及び地産地消の推進 特性を生かした産地づくり

地産地消推進事業 G I 登録支援・G A P 認証取得支援

930万円

農林水産業の活性化のためには安全・安心な生産物の提供や産業を支える仕組みづくりが大切です。鶴岡産農林水産物を活用した学校給食新メニュー開発などに取り組み地産地消を推進します。

また、品質向上や競争力強化に効果が高い地理的表示制度（G I）登録や農業生産工程管理（G A P）認証取得に向けた生産者の取り組みを支援します。

移住・定住の推進

移住促進に向けた情報発信や お試し住宅制度などの強化

1,535万円

移住には、まず本市との接点をつくり、魅力を知ってもらうことが第一歩です。そこで、鶴岡や東京での研修を通じ地域をよく知りつながりをつくる移住体験プログラムの実施や、同プログラムを受講した方を「鶴岡アンバサダー」に任命。鶴岡の魅力の宣伝役を担ってもらい、首都圏での情報発信を強化します。また、移住希望者に対する「お試し住宅」の家賃・保証料等の助成拡充など移住・定住につなげます。

中小企業の経営支援

金融対策事業

14億9,800万円

金融機関等と連携した本市独自の融資制度等で中小企業の経営をサポートします。人手不足に悩む中小企業に対応するため、企業の生産性向上を促進する融資制度を新たに創設します。

広域連携を生かした観光の充実



新潟県・庄内エリアデスティネーション キャンペーン（DC）誘客促進事業

1,585万円

平成30年～32年に「日本海『美食旅』」をテーマに国内最大規模の観光キャンペーン「新潟県・庄内エリアDC」が展開されます。東京オリンピック・パラリンピック開催と続くこの好機を生かし、国内や世界からの誘客を促進するため食文化、「出羽三山」「サムライゆかりのシルク」の2つの日本遺産、加茂水族館など、鶴岡の魅力を積極的にPRします。

過疎地域の集落活動支援
「小さな拠点」づくりの推進

6,880 万円

- 福栄地区への地域おこし協力隊員の配置継続と宝谷地区への2人の地域おこし協力隊員の新規配置
- 朝日・温海地域への集落支援員の配置
- 住民や地域団体が行う買い物支援や移動手段の確保等に向けた取り組みへの支援
- 住民の生活を支える新しい地域運営の仕組みづくりと地域づくりの担い手の確保・育成
- 地域活動拠点の整備へ向けた旧大網小の解体工事の実施

安心して暮らし続けられる地域コミュニティづくりへの取り組みをはじめ、防災・防犯・交通安全対策の推進と消防救急体制の強化を図ります。
一般廃棄物最終処分場の整備については、地域の不安を解消するため万全の対策を講じるとともに、丁寧な説明を重ねて元の理解が得られるよう取り組みます。

防災行政無線のデジタル化
による危機管理機能の充実

1 億 2,256 万円

- 市役所と防災拠点・避難所との情報連絡体制を強化

再生可能エネルギーの
導入による地域活性化

1,744 万円

- 地域の再生可能エネルギー利活用の取り組みに協力
- 家庭の再生可能エネルギー設備導入を支援 等

地域住宅リフォーム補助制度の拡充



9,110 万円

- 木造住宅や子育て世帯住宅等のリフォームに補助
- 県指定大工育成工務店の利用、高断熱対策の実施、耐震シェルターベッド等の設置に助成額を加算
- 空き家を活用した市外からの移住者に200万円を補助 等

市民生活環境の整備



放課後児童対策の推進

3 億 2,541 万円

- 放課後子ども教室・児童クラブの運営を支援
- 多子世帯の利用料を軽減
- 放課後児童支援員の処遇改善

子育て世代を応援する取り組みをはじめ、子供たちの健やかな成長、心と体の健康づくりのため、各種事業を展開します。
高齢者や障害者を地域が支える温かい福祉のまちづくりを推進するとともに医療提供体制の充実を図ります。

安全・安心な妊娠・出産への支援

1 億 464 万円

- 公費負担による妊婦健康診査、HTLV-1(ヒト細胞白血球ウイルス)抗体検査、子宮頸がん検診、超音波検査の実施
- 県の「特定不妊治療費助成事業」を受ける方への上乗せ助成と2回目以降の助成単価引き上げ
- 母子保健コーディネーター(助産師等)の配置による妊婦との面接等
- 宿泊型産後ケアの新たな実施 等

障害者の自立生活の実現

9,160 万円

- 在宅心身障害者が作業所等に通所する際の交通費を支援
- 障害児のタイムケア事業所利用時間の拡充 等

荘内病院の医師確保のための勤務環境改善や修学資金貸与制度

2 億 9,471 万円

- 関連大学医学部への医師、出張医の派遣依頼
- 医師の業務負担軽減のための看護師養成や医師事務作業補助者の配置
- 大学卒業後に荘内病院に勤務する意思がある学生への修学資金貸与
- 新専門医制度に向けた医師のキャリア形成促進と指導医の人材育成 等

健康福祉社会の形成

未来を担う子どもを育て、 文化が薫るまちへ

教育文化の充実

子供たちがいきいきと学べるよう学習環境や学校環境を整備します。高等教育機関による研究開発等を促進するとともに、芸術活動環境の充実、歴史・文化資源の保存・活用、市民スポーツの振興を図ります。

教育相談・特別支援教育体制の強化

1億 1,069 万円

- 教育相談員・スクールカウンセラーの配置
- 学校教育支援員の配置 等

鶴岡ホストタウン推進事業

496 万円

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックへ向け、ホストタウン相手国（ドイツ・モルドバ）との交流・事前合宿の誘致を行う「鶴岡ホストタウン推進委員会」への支援

スポーツに親しめる環境の整備

2億 4,916 万円

- 羽黒体育館のトイレ洋式化工事
- 屋内多目的運動施設整備のための用地地質調査等
- 各種体育施設の指定管理委託



慶應義塾大学先端生命科学研究soの研究教育活動の評価と支援

3億 5,710 万円

- 研究成果等の検証と県と協調した支援の継続

日本遺産認定を契機とした養蚕業支援と絹産業を効果的に活用したまちづくり

1,110 万円

- シルクを生かしたまちづくり等の継続
- 観光・産業振興に向けた絹産業の効果的な活用
- 養蚕業の新たな担い手の創出 等

地域特性を生かした産地ブランド力の向上や地域農産物の高付加価値化、地産地消の推進を図ります。生産基盤等を整備するとともに、地域で農林水産業を支える仕組みをつくりまします。

地域の特性を生かした産地づくり

1億 9,013 万円

- 試験圃設置経費等の支援
- 初期投資費用や新品種・新技術導入等を支援
- 環境保全型農業の普及啓発
- 鶴岡産米のPRシール・パンフレット制作等
- 学校給食への有機米提供を支援 等



新規就農者や農業後継者の支援

7,509 万円

- 農業次世代人材投資事業補助金による新規就農者への支援
- Uターン就農の促進
- 地域定住農業者育成コンソーシアムが行う総合的な人材育成を支援 等

鳥獣被害防止対策の推進

1,709 万円

- サル・クマ等の捕獲業務への支援
- ニホンザルの捕獲支援の充実
- 電気柵や爆音機等の被害防止機器購入への支援
- 狩猟免許取得への支援

農林水産業の振興

食の魅力を生かし発展するまちへ

商工観光

雇用が増え、賑わうまちへ

生活・活動を支える 基盤が整うまちへ

商工観光業の振興

社会基盤整備の推進

地元への就業や正社員化の取り組みを後押しし、雇用の促進を図ります。
食文化の活用や地域の強みを生かした産業の振興、中心市街地のにぎわいや魅力ある観光地づくりを進め、地場産業の強化と交流人口の拡大を図ります。

メタボローム解析技術やバイオ技術を活用した地域企業との連携促進

1億8,120万円

- 慶大先端生命研の高度な研究機能・成果を生かした地元企業との共同研究や新産業の開拓
- バイオ産業集積に向けた取り組みの推進
- 先端研究産業支援センターの適切な管理と利便性の確保 等

食文化創造都市のブランド化と観光や農林水産業の成長産業化の推進

7,618万円

- 食文化を活用した各種事業の実施による農林水産業・観光などの成長産業化や地域の活性化を推進
- 外国人地域おこし協力隊の配置
- 若手料理人の技術向上のための研修を支援
- 海外の食文化創造都市やイタリア食科学大学等とのネットワーク強化による高度な情報発信
- 食のフィールド・スタディ（食文化の体験学習）や大学生プロジェクト型インターンシップ等の取り組みを支援 等

若年層の雇用対策の推進と地元就業の促進

2,228万円

- 鶴岡ワークサポートルームでの相談・あっせん、求人先の開拓、無料職業紹介等
- 正社員化促進事業奨励金の支給
- 地元で就職する大学等卒業者の奨学金返還を支援
- 地元を離れている若者への情報発信と企業への働き掛けによるUターン就職の促進 等

橋梁やトンネルなどの長寿命化の推進

3億4,189万円

- 老朽化した橋梁の補修や架け替えの実施
- 計画的な点検・補修による長寿命化の推進

快適な都市環境の形成を進めるとともに、道路、公園、橋梁などの整備・長寿命化や空き家の適正管理・有効活用を図るなど安全・安心な生活環境を整えます。
高速交通ネットワークや幹線道路網・生活関連道路網を充実します。

まちなかの機能充実と魅力向上

5,200万円

- 中心市街地のにぎわい創出に向け、まちなか居住を促進する優良建築物等の整備を支援

雨水排水対策の推進

5億5,944万円

- 茅原地区から赤川までの排水路の新たな整備
- ゲリラ豪雨などの際、路面冠水・住宅浸水被害が発生する地域の排水路の新たな整備

日本海沿岸東北自動車道をはじめとする高速交通網の整備促進

3,973万円

- 日沿道の新潟県境間インターチェンジ周辺休憩施設造成に向けた測量や基本設計の実施
- 庄内空港の利便性向上、羽越本線の高速化の促進 等

空き家の適正な管理と有効活用

2,624万円

- 危険空き家に対する応急措置の実施や解体費用を支援
- 空き家利活用コーディネーターを育成
- 寄附を受けた空き家を解体・更地化し移住希望者に住宅用地として供給

地域まちづくり未来事業

各地域がともに発展するまちへ

〈藤島地域〉

- 首都圏大学・藤島地域農業農村交流事業



- 農業関連資源を生かした地域振興
- ふじの里づくりの推進
- 東田川文化記念館の照明のLED化等

4,990 万円

〈櫛引地域〉

- 歴史・文化の里の推進



- フルーツの里づくりの推進
- 観光案内看板の設置
- 櫛引生涯学習センターの整備・充実等

5,589 万円

〈温海地域〉

- 関川地域活性化イベント支援事業



- 桜の植樹(更新)やバラ公園の改修等を通じたあつみ温泉の振興
- 体験旅行推進事業への支援など交流を核にした地域振興
- 地域コミュニティ活動の強化と活動拠点の機能充実等

4,352 万円

合併の理念である「多様性の発揮」を継承し、全地域で地域の特性を生かしたまちづくりを活性化します。
それぞれの生活が守られ、明るい希望を持てる地域社会が実現できるよう、地域振興施策を展開します。
なお、鶴岡地域における事業の実施については30年度にその内容を検討します。

〈羽黒地域〉

- 月山高原エリア活性化事業



- 歴史的風致の維持向上
- 地域交通の充実
- 蝦夷館公園の整備等

3,495 万円

〈朝日地域〉

- 食と六十里越街道トレッキング連携事業

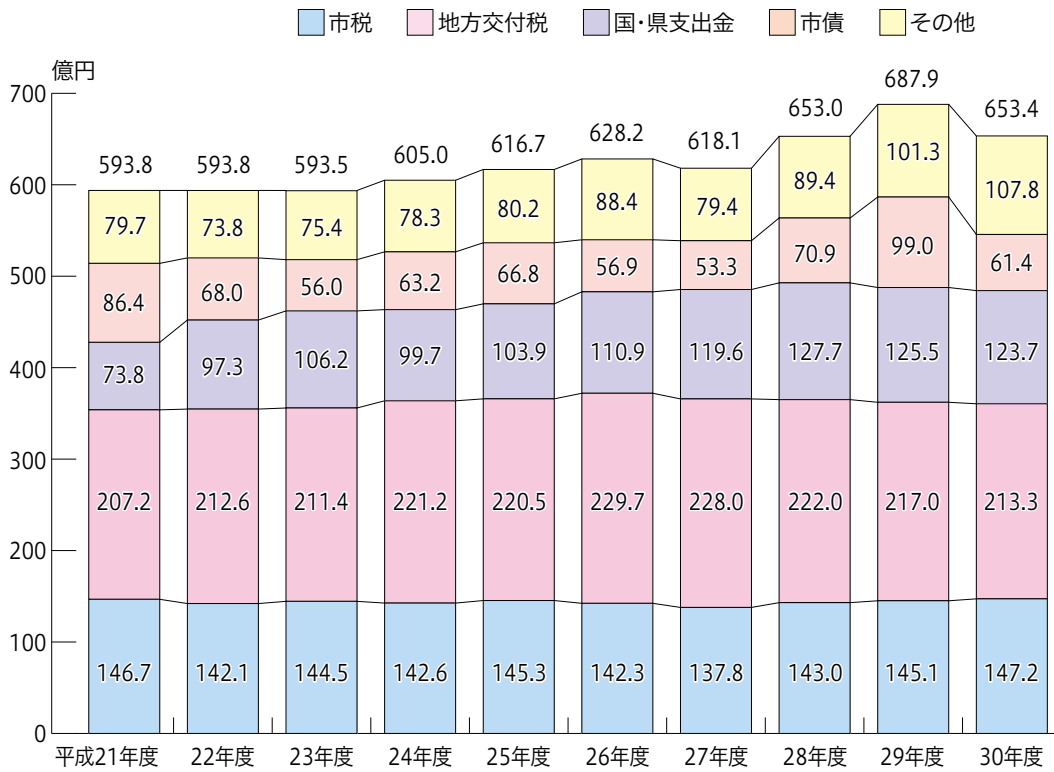


- 自然などの地域資源を生かした観光誘客の促進
- 安心安全な登山を支援するデジタル簡易無線の導入
- 山の恵みを生かした複合農業の推進等

2,955 万円

地域の個性を生かすまちづくり

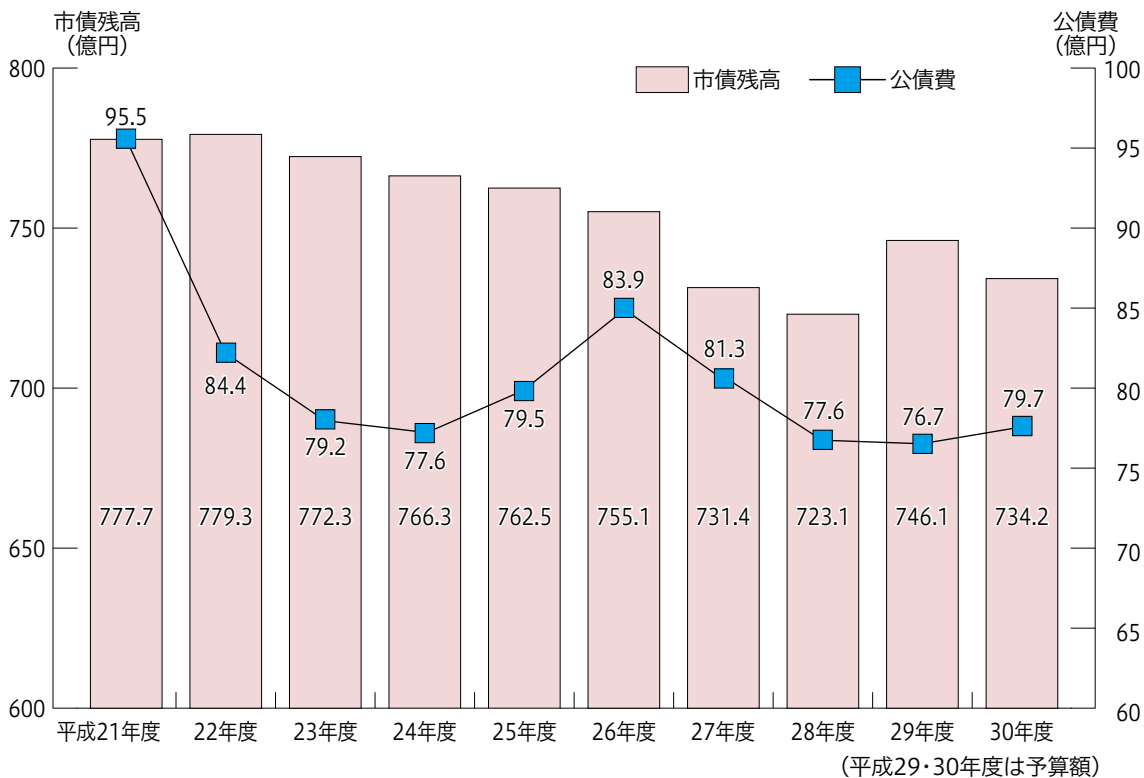
一般会計歳入の構成別推移



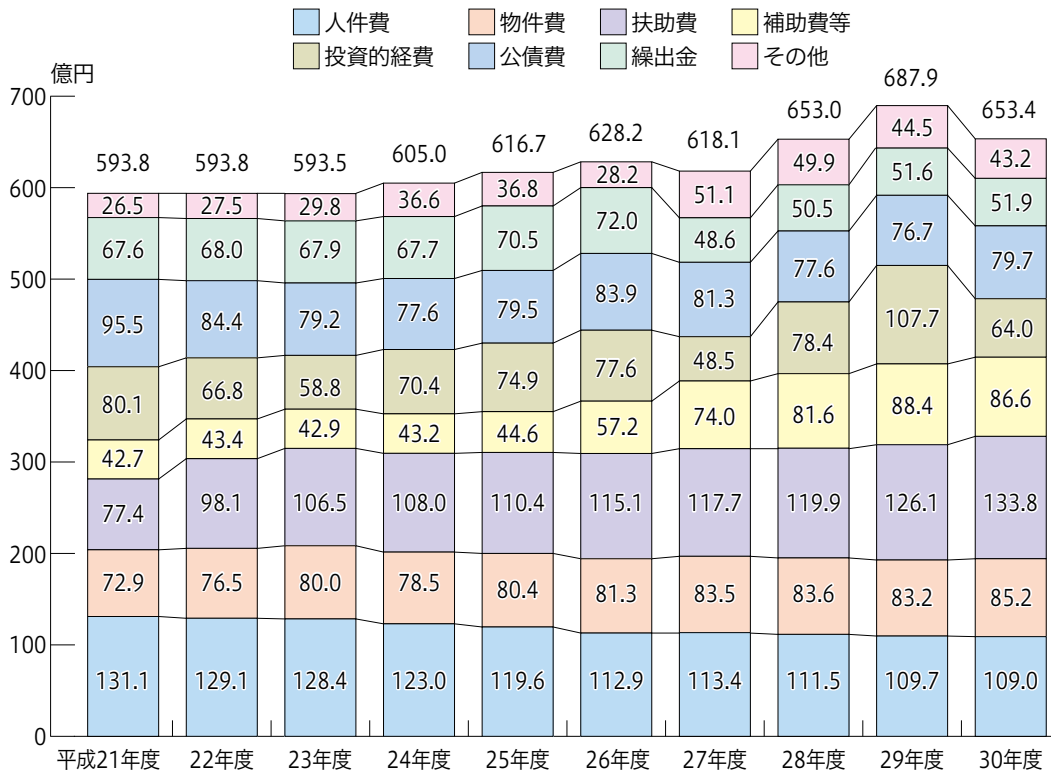
- ・市税…市民が市に納める税金（市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税など）
- ・地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- ・国・県支出金…特定の事務・事業についての財源として、国や県から交付されるお金
- ・市債…建設事業や財政対策などを行うため、金融機関などから借り入れるお金

グラフで紹介します

市債残高と公債費の推移



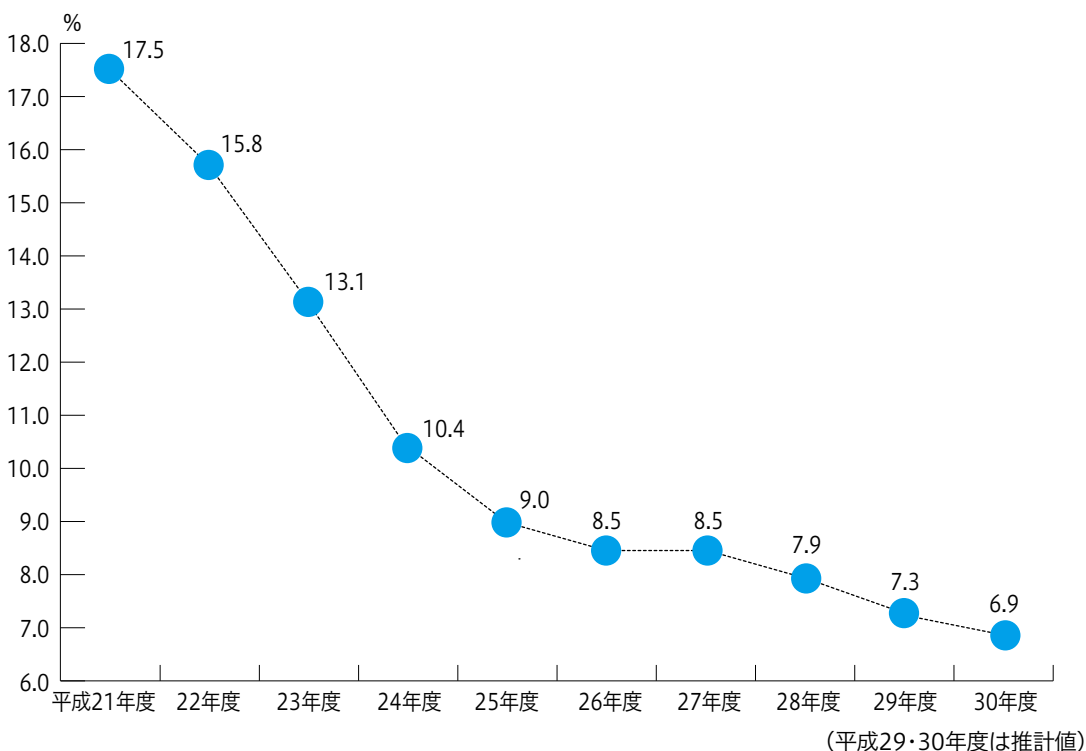
一般会計歳出の構成別推移



- ・人件費…職員の給料、議員や委員の報酬など
- ・物件費…消耗品や備品の購入費用、光熱水費、施設の管理委託料など
- ・扶助費…生活保護費や保育園の委託料、乳児や重度身体障害者への医療給付費など福祉のためのお金
- ・補助費等…各種団体や病院・上下水道事業に対する負担金や補助金など
- ・投資的経費…道路、橋、学校など公共施設の建設経費
- ・公債費…借金の返済に充てるお金
- ・繰出金…介護保険などの給付費に対して、一般会計から負担するお金

鶴岡市の財政状況を

実質公債費比率の状況



- ・実質公債費比率…公債費や公営企業への繰出金などを含めた実質的な公債費相当額が、標準財政規模に占める割合を、3か年平均で表した指標。この比率が18%以上になると市債の発行には県の許可が必要となり、25%以上になると、市債の発行が制限される

平成30年度の主な重点事業

★…新規・レベルアップ事業

◆より安全で安心なまちへ(市民生活環境の整備)

地域コミュニティ再生事業	785万1千円
広域コミュニティ推進事業	3億3,399万9千円
生涯学習振興事業	1億5,177万円
過疎対策推進事業(★)	1,989万4千円
「小さな拠点」づくり推進事業(★)	4,890万9千円
移住・定住促進事業(★)	875万6千円
地域住宅活性化事業(★)	9,775万8千円
防災行政無線整備事業	1億2,255万7千円
災害に強いまちづくり事業	1,307万2千円
交通安全推進事業(★)	3,162万7千円
交通輸送対策事業(★)	1億9,582万6千円
消防施設新営改良事業	8,667万2千円
消防施設設備整備事業	7,662万7千円
ごみ焼却施設整備事業	10億1,033万円
一般廃棄物最終処分場整備事業	1億5,169万4千円
地球温暖化対策普及啓発事業(★)	500万円
庄内自然博物館構想推進事業	1,940万7千円

◆いきいき健やかに暮らせるまちへ(健康福祉社会の形成)

妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業	9,354万6千円
特定不妊治療費助成事業(★)	1,110万2千円
子育て支援医療給付事業	4億6,260万6千円
第3子以降の保育料無償化	1億7,285万円
子育て支援センター事業(★)	8,798万9千円
学校給食センター管理運営事業(★)	10億8,783万8千円
婚活支援事業	408万円
子どものための教育・保育給付事業	44億1,440万8千円
公立保育園移転改築事業	4億6,051万7千円
民間保育所等への各種補助事業	2億1,469万9千円
私立幼稚園振興事業(★)	3,816万1千円
放課後児童対策関連事業	3億1,000万4千円
屋内遊戯施設整備支援事業	1億円
各種健康診査事業	3億1,316万9千円
がん検診受診率向上対策事業(★)	746万4千円
福祉のまちづくり総合推進事業(★)	997万3千円
地域生活支援事業(★)	8,775万7千円
介護保険料軽減強化事業	2,253万3千円
地域介護予防活動支援事業(★)	1,192万3千円
地域包括支援センターの体制強化(★)	1億7,222万5千円
生活支援体制整備事業(★)	2,497万3千円
庄内病院の医師確保のための勤務環境改善や 修学資金貸与	2億9,471万7千円

◆未来を担う子どもを育て、文化が薫るまちへ(教育文化の充実)

小・中学校教育機器(パソコン)整備事業	6,983万3千円
チーム学校の推進支援事業(★)	9,295万2千円
「ふるさと鶴岡を愛する子ども」育成推進事業	1,250万5千円
教育相談・適応指導事業	3,258万1千円
鶴岡第三中学校改築事業	2億1,636万1千円
小学校大規模改修事業	3,161万7千円
がんメタボローム研究推進事業	1億753万9千円
高等教育機関連携促進事業	484万4千円
鶴岡ホストタウン推進事業	496万7千円
屋内多目的運動施設整備推進事業	987万4千円
郷土資料館管理運営事業(★)	86万6千円
文化会館管理運営事業(★)	2億943万6千円
松ヶ岡地域振興事業	2,398万6千円

◆食の魅力を生かし発展するまちへ(農林水産業の振興)

経営体育成支援事業	5,846万7千円
農産物高付加価値化調査研究事業(★)	414万8千円
環境保全型農業推進事業(★)	87万8千円
ブランド力向上支援事業(★)	119万7千円
中山間地域等直接支払交付金事業	2億5,707万円
多面的機能支払活動支援事業	9億5,154万7千円
県営経営体育成基盤整備事業	3,109万8千円
鳥獣被害対策事業(★)	1,704万3千円
林地台帳整備事業(★)	3,289万6千円
林道整備事業(★)	128万円
森林病害虫等防除事業	1,626万6千円
漁港施設整備改良事業	6,350万円
油戸海岸保全施設改良事業	7,013万3千円
海岸保全施設長寿命化事業(★)	1,516万3千円
地産地消推進事業(★)	811万5千円

◆雇用が増え、賑わうまちへ(商工観光業の振興)

企業立地促進事業	5億4,979万9千円
工業一般振興事業(★)	467万3千円
金融対策事業(★)	14億9,800万7千円
地域内企業の高度化、企業活性化支援事業	3,567万5千円
新産業創出地域基盤事業	2,664万3千円
先端研究産業支援センター管理運営事業	1億5,798万4千円
食文化創造都市推進事業(★)	4,077万5千円
労働福祉対策事業(★)	6,592万7千円
地元出身学生等回帰促進事業(★)	589万1千円
産業人材育成支援事業	1,104万3千円
商店街振興対策事業(★)	842万4千円
鶴岡観光地域づくり推進事業(★)	3,455万1千円
観光一般事業	9,521万5千円
加茂水族館管理運営事業	8,412万2千円
まつり振興事業	3,515万円
国際観光推進事業	1,908万7千円

◆生活・活動を支える基盤が整うまちへ(社会基盤整備の推進)

鶴岡市茅原北土地区画整理事業	2億3,564万2千円
鶴岡市歴史的風致維持向上計画事業(★)	7,849万7千円
鶴岡まちづくりプランディング事業(★)	2億328万2千円
日沿道新潟県境区間IC周辺休憩施設整備事業(★)	2,964万9千円
高速交通・鉄道在来線振興事業	1,228万4千円
都市計画道路山王町本町線整備事業	2億4,341万円
除雪対策事業	6億2,773万4千円
公園施設等長寿命化対応事業	3,000万円
市営住宅新営改良事業	5,060万円
空き家対策事業	676万8千円
空き家有効活用支援事業	2,025万1千円
公共下水道・集落排水・浄化槽事業	27億6,693万7千円

◆各地域がともに発展するまちへ(地域の個性を生かすまちづくり)

地域まちづくり未来事業(★)	2億1,382万9千円
----------------	-------------

◆鶴岡のまちづくりを支え、進める取組み

ふるさと寄附金事業	3億518万5千円
鶴岡市総合計画策定事業	1,272万9千円
東京事務所各種活動事業	778万3千円
いきいきまちづくり事業	471万8千円
新文化会館第三者調査・検証専門委員の設置(★)	162万4千円

鶴岡市の財政・予算及びこの特集について、詳しくは本所財政課へ
☎25 - 2111内線332 ✉zaisei@city.tsuruoka.lg.jp